


産業保健における「健康相談」の標準化と健康相談システムの構築			
ガイドラインステップ	キーワード (6つ以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業保健 ・健康相談 ・健康相談がイトライン 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業保健スタッフ ・標準化 ・健康相談システム
1・4・14・15			
改善・取組みの背景と課題	<p>■2000年の「心の健康の保持増進のための指針」を受け、ラインケア・セルフケア教育や復職支援等の様々なメンタルヘルス活動を拡充するとともに、社内の産業保健スタッフ増強や人事や職場との連携強化によるメンタルヘルス体制の整備を行ってきた。</p> <p>■その結果、本人の気づき、上司の気づき力が向上し、早めに産業保健スタッフの「健康相談」に繋がるようになり、「健康相談」件数が増加してきたことは評価できる。</p> <p>■しかしながら、これらの健康相談対応を各事業所の産業保健スタッフが対応しているものの、その対応範囲や運用手順が曖昧であり、各事業所間やスタッフ間により従業員対応の格差が発生するようになっていた。また、健康相談の記録に関しては、記録に時間がかかるとともに、紙記録の紛失・個人情報漏洩リスク、加えて保管場所の限界等が問題となっていた。</p> <p>■そこで、【産業保健スタッフが対応する「健康相談」の標準化】を行うことを課題とした。</p>		
改善・取組みの着眼点	<p>着眼点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業保健で対応する「健康相談」の標準化とは、何を指すものなのか？ ・そもそも産業保健とは何か？ ・産業保健スタッフによる「健康相談」のあるべき姿とは？ <p>健康相談の標準化のための「あるべき姿」の探求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法的根拠(労働安全衛生法・労働安全衛生規則・個人情報保護法・指針等) ・社内規則(社員就業規則・機密管理規則・安全衛生規定等) ・参考文献(下記参照)等をもとに、「あるべき姿」を検討 		
改善・取組みの概要	<p>「あるべき姿1」健康相談の目指す方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の健康支援(健康不調の未然防止・早期発見/対応・再発防止)が目的 <p>「あるべき姿2」標準化のねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> ①従業員対応の統一化による従業員サービスの質向上(全体最適) ②増加する健康相談情報(記録)の機密管理徹底 <p>「あるべき姿3」標準化の基本スタンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談対応を行うことにより、従業員と職場を支援する <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>≪あるべき姿を形にする≫</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「標準書」の策定⇒【健康相談がイトライン】 ②「標準書」の実行基盤の構築⇒【健康相談システム】 </div>		

<p>写真・図表・イラスト</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【図1 健康相談ガイドラインの評価】</p> <p>※2013年4～5月システム毎日活用者 N=52</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【図2 健康相談システムの評価】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【図3 健康相談システム 満足度】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【図4 相談記録作成工数】</p> </div> </div>			
<p>効果</p>	<p>1. 標準化の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年～【健康相談ガイドライン】と【健康相談システム】を産業保健スタッフに活用推奨 ・2013年4～5月に有効性把握のためのアンケート調査を実施 <p>2. 効果把握・評価(図表参照)</p> <p>1)【健康相談ガイドライン】の評価(図1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの達成目標「健康相談業務の標準化」について、約7割が達成と回答 <p>2)【健康相談システム】の評価(図2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの達成目標「機密管理の徹底」について、約9割が達成と回答 ・また、システムの満足度(使いやすさ・活用度等)は、使い慣れる程向上し、1年活用後は、約8割が「満足」と回答 ・健康相談記録の作成時間は15分以内が増加し、工数削減効果があった 			
<p>このGPSの経験から学ぶことができるポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業保健スタッフが対応する「健康相談」を標準化したことにより、確実・適切な対応による従業員対応(サービス)の質向上が図れた。 ・標準化の実行基盤として、相談記録をシステム化することにより、セキュリティ強化(機密管理の徹底)によるコンプライアンス強化や、記録作成工数の削減による効率化も図ることができた。 			
<p>参考資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 和田攻:産業保健マニュアル第5訂,南山堂, 2007 2) 森晃爾:看護職のための産業保健入門,株式会社保健文化社, 2010 3) 河野啓子:産業保健・産業看護論,日本看護協会出版会, 2008 4) 土肥誠太郎:プライバシーの保護,安全と健康,中央労働防止協会, Vol.10 No9, 2009 5) 労働契約法に規定された安全配慮義務;産業医学ジャーナル, 産業医学振興財団, Vol.31, 5, 2008 			
<p>投稿者</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">松浦 清恵</td> <td style="width: 20%;">e-mail</td> <td style="width: 60%; text-align: right;">2014年1月10日</td> </tr> </table>	松浦 清恵	e-mail	2014年1月10日
松浦 清恵	e-mail	2014年1月10日		